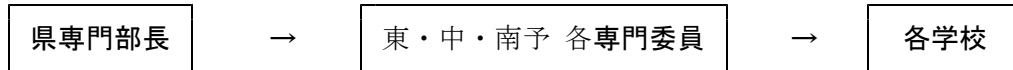


陸上競技の部 伝達事項

1 緊急時の連絡



2 開会式

11月11日(土) 8:45~

- ◇ 晴天時：8:40 ホームストレート走幅跳ピット付近、メインスタンドに向かつて整列完了
競技開始時刻が10:45以降の全出場者が出席する。
- ◇ 雨天時：8:40 メインスタンド1F中央ロビーに整列完了
東・中・南予 各地区代表男女2名ずつ(計12名)が出席する。

3 運動公園ゲート開門 6:50頃

陸上競技場開場 7:00

- ※ 前日及び開場前からのベンチ確保は厳禁とする。
- ※ スタンド内および会場周辺のベンチ確保は、大会当日の開場後に行うこと。
- ※ 雨天練習場内、招集所(第2ゲート周辺)付近、ロビー周辺、トレーニング室出入口付近、体育館前でのベンチ確保は禁止する。

4 その他

- ※ 雨天時に限り、雨天練習場を開放する。雨天練習場の使用は、体操、ストレッチ、動き作り、ジョギング程度とし、スパイクを履いての走行や、器具(ミニハードルやメディシンボール等)を使用する練習は禁止する。なお雨天練習場への出入りは、第2ゲート側からのみとする。
- ※ 雨天練習場内にマットやシートなどを敷くなど、占有的な使用はしないこと。
- ※ 別紙『競技注意事項』に必ず目を通しておくこと。
- ※ タクシー、バスの乗降は東駐車場で行うこと。横断歩道付近での乗降は厳禁とする。
- ※ **競技場北側駐車場は、使用できない。中央駐車場・東駐車場などを使用すること。**

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2017年度(公財)日本陸上競技連盟規則、本大会要項及び競技注意事項を適用する。

2 競技場使用について

- (1) ウォームアップ場は、補助競技場を原則とする。
- (2) **雨天時に限り、雨天練習場を開放する。雨天練習場の使用は、体操、ストレッチ、動き作り、ジョギング程度とし、スパイクを履いての走行や、器具(ミニハードルやメディシンボール等)を使用している練習は禁止する。なお雨天練習場への出入りは、第2ゲート側からのみとする。**
- (3) 砲丸投の練習については、補助競技場内トラック外側の砲丸投ピットのみとする。
- (4) 練習は係員の指示によって行う。
- (5) 練習および競技で使用したマーカー(テープ類)は、必ず使用後に各自で処理すること。
- (6) 全天候走路であるため、スパイクのピンの長さは9 mm以下とする。ただし、走高跳は12 mm以下とする。また、スパイクピンの本数は11本以内とする。

3 選手招集について

- (1) 招集所は、競技場第2ゲート付近に設ける。
- (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は次のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前

(3) 招集の手順

- ① 競技者または代理人は、招集開始時刻までに、招集所に掲示した競技者一覧表の自分のナンバーを○で囲む。(競技者一覧表は、招集開始時刻の30分前より掲示する。)
- ② 競技者は、招集開始時刻までに招集所に集合し、最終点呼を受ける。その際、競技役員にナンバーカードとスパイク、衣類および競技場内へ持ち込む物品等の確認を受けた後、競技役員の指示に従って入場する。(携帯電話や通信機器および音楽再生機等は持ち込めない)
- ③ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技に出場できない。
- (4) リレー種目に出場するチームは、**招集完了時刻の1時間前**までにオーダー用紙を競技者係まで提出する。オーダー用紙は招集所に準備する。
- (5) やむを得ず棄権する場合は、競技者係に申し出る。

4 競技について

- (1) 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の決勝については、主催者側が公平に抽選をし、その結果を番組編成表示板に掲示する。
- (2) トラック競技の予選は、各組上位記録者2名と、3位以下全体の上位記録者2名の計8名が決勝に進出することができる。なお、同記録着差なしの場合は、日本陸連の規則に準じて決勝進出者を決定する。ただし、男女1500m、男女4×100m R はタイムレース決勝、男子3000mについては、決勝レースのみとする。
- (3) レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- (4) スタートの合図は英語とする。不正スタートについては、1回目から失格とする。
- (5) 短距離種目では、事故防止のため、フィニッシュ後も自分に割り当てられた走路(曲走路)を走る。
- (6) リレー競走においては、チームの出場者は同一のユニフォームを着用する。
(ルールブック2017 第143条)
- (7) リレー競技のマーカーの使用は1カ所とする。使用したマーカーはそのチームで処理する。
- (8) 競技場内での跳躍、投てきの公式練習は、審判員の指示によって行う。
- (9) 走幅跳、三段跳、砲丸投は3回の試技を行い、上位8名を決定する。上位8名の者は、さらに3回の試技を行い順位を決定する。

- (10) 三段跳においては、踏切板から砂場までの距離を9mとする。
- (11) フィールド競技における助力は、観客席に設けられたコーチ席（コーチング・ゾーン）でのみ認める。

5 競技場への入退場について

- (1) 競技場への入場はすべて係員の誘導に従うこと。
※ 競技開始場所においても、直前の点呼があるので勝手に行動しないこと。
- (2) トラック競技の出場者はフィニッシュライン到着後、係員の誘導によって退場する。
- (3) フィールド競技の出場者は、係員の指示に従って退場する。

6 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは、大会当日の受付時に各地区専門委員より配布されるものを用いる。各種目に出場の際は、このナンバーカードを背と胸に、糸または安全ピンでとり付ける。ただし、跳躍競技に出場の際は、胸または背のいずれかに付けるだけでよい。
なお、ナンバーカードは、大会終了時に各地区専門委員まで返却する。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を選手招集所で受け取り、ランニングパンツ右横やや後方に取り付け、競技終了後係員に返却する。

7 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は、最後の1人になるまでは次のとおりとする。

走高跳	男	125(練習)	130	135	140	145	150	155	160	163	以後 3cm ごと
	女	115(練習)	120	125	130	135	140	143	146	149	以後 3cm ごと
棒高跳	男	220(練習)	230	240	250	260	270	280	290	300	以後 10cm ごと
	女	190(練習)	200	210	220	230	240	250	260	270	以後 10cm ごと

8 競技用具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールについては、個人所有のものを招集場で検査を受け、合格したものに限り使用が認められる。
- (2) 練習用としても個人の用具を競技場に持ち込んではいない。

9 表彰について

各種目の表彰は1～3位まで行うので、入賞者は決勝終了後、入賞者控所で待機し、係員の指示に従うこと。(表彰は上半身ユニフォームを着用のこと。)

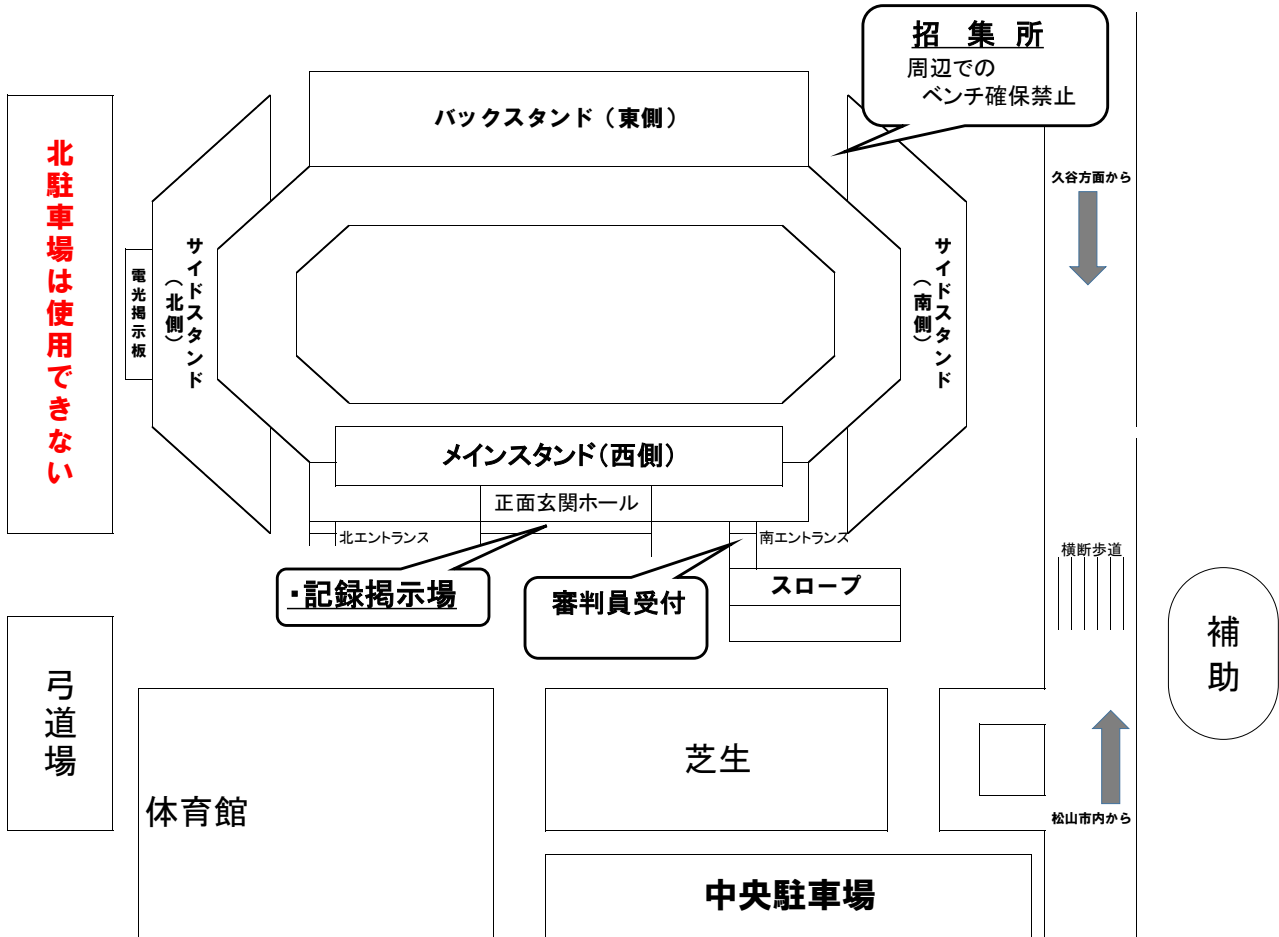
10 応援横幕・のぼり旗、個人テントの設置について

- (1) 応援横幕・のぼり旗などは、バックスタンド及びサイドスタンドのフェンスに設置すること。
- (2) スタンド等の通路をさえぎる状態での設置はしないこと。
- (3) 設置についてはロープ等を使用すること(粘着テープ等の使用は禁止する。)
- (4) 個人名の入った応援横幕・のぼり旗等は許可しない。
- (5) 本競技場内に個人テントを設置する場合は、バック及びサイドスタンド、または周辺道路の交通の妨げとならない場所に設置すること。

11 その他

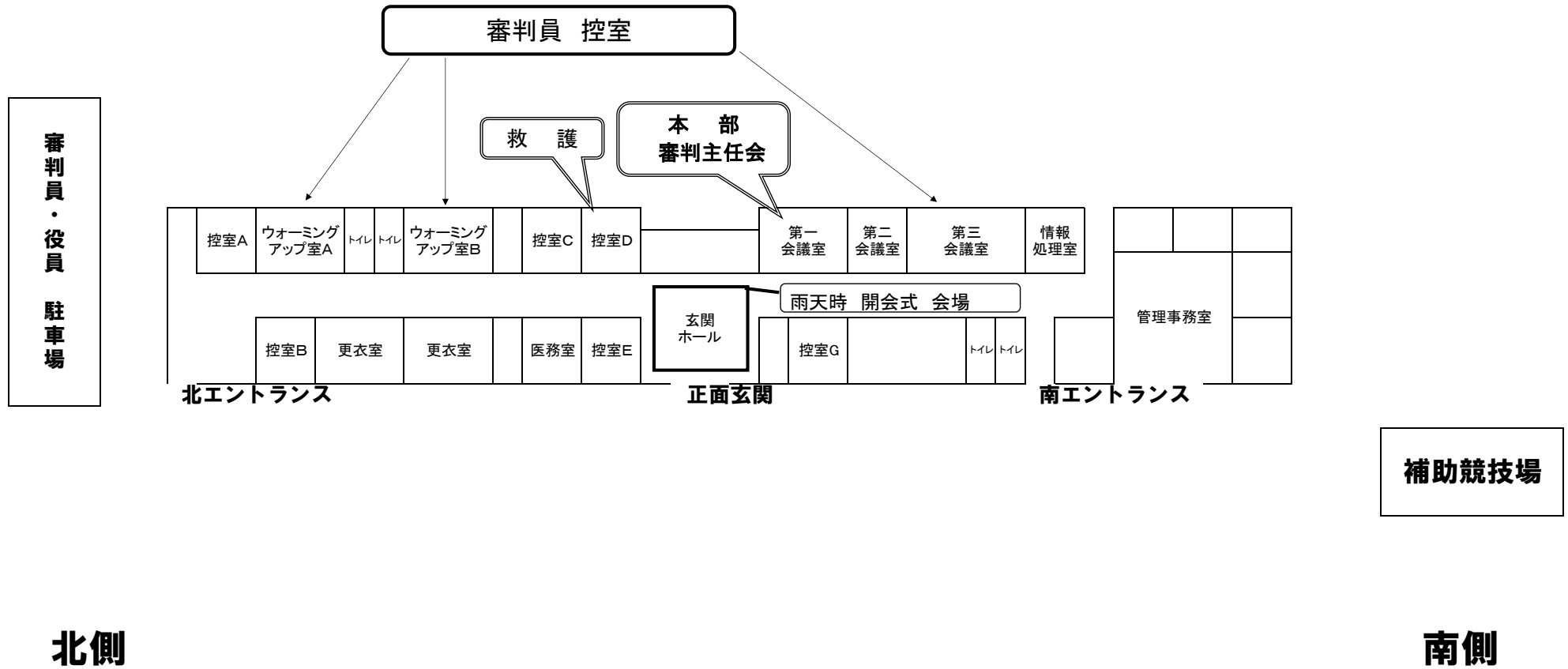
- (1) 閉会式には、タイムテーブルの競技開始時刻が10:45以降の選手が参加すること。閉会式は行わない。
- (2) 応急処置を要する場合やその他健康上の問題が発生した場合は医務室まで連絡すること。
- (3) 記録はメインスタンド1F玄関ロビー付近に掲示する。
- (4) スタンド等で出たゴミについては必ず各校で持ち帰ること。

平成29年度 愛媛県中学校新人体育大会 陸上競技の部
ニンジニアスタジアム会場図



平成29年度 愛媛県中学校新人体育大会 陸上競技の部

【メインスタンド1階 配置図】



平成29年度 愛媛県中学校新人大会 陸上競技の部 バックスタンド1F 招集所・雨天練習場 周辺詳細図

